

Mirai



女性の活躍を応援します！

～私たちの願いは、地域の皆様の「安心な老後生活」の実現です～



特定医療法人 好文会

Specific medical corporation koubunkai



「いきいき長寿の集い」で地域の皆さまに出張講演

2月26日、藤沢公民館で「いきいき長寿の集い」が開催されました。地域連携室が出張講演の依頼を受けて、あねとす病院をはじめとした好文会スタッフが出向いてまいりました。今回は「骨の健康、意識していますか?」をテーマに、骨密度測定やリハビリ体操、生活と食に関する講話などを、参加者の皆さまにブースごとに分かれて体験していただき、最後は全体のまとめとして骨の健康と骨粗鬆症予防を意識するための講演を行いました。



骨密度測定

講師：あねとす病院 臨床検査技師
内容：超音波骨密度測定装置を使用した骨密度測定 など



健康体操

講師：老健アルメリア 理学療法士
内容：日常生活でできる簡単な筋力維持の体操 など



生活と食

講師：あねとす病院 作業療法士
地域連携室 栄養士
内容：ロコモティブシンドロームを予防する生活栄養摂取について など

深谷赤十字病院さま 好文会見学ツアー報告



2月27日、深谷赤十字病院のスタッフ6名さまへ、好文会の施設見学ツアーを行いました。アルメリア・ゆかりの家の相談員から、ご案内と詳細なご説明をさせていただきました。

講演会とも関連する3月のロビー展示

3月のあねとす病院ロビー展示は、熊谷市出身で秩父に暮らし、昨年3月にご自宅で亡くなられた原 葉子氏の回顧展を、ご家族のご協力のもと開催しました。病に侵されながらも医療に頼ることを拒み、人生の早い段階で自らの死生観を確立し、一心に絵を描き続けた氏の生き方を、遺された絵画、手記や遺言などとともにご紹介しました。また、次ページ以降でお伝えする講演会の開催にあわせ、特別



展示として、氏の生き方のもととなった医療や健康に関する資料とともに、「アドバンス・ケア・プランニング」に関する厚生労働省のパンフレット等も掲示させていただきました。

「健康な生活」と「納得できる医療」を学ぶ

■ 二部制の講演会

3月13日(水)、あねとす病院リハビリテーション室で講演会を開催いたしました。今回は、「患医ねっと」代表で上智大学・北里大学非常勤講師でもある鈴木 信行先生をお招きし、昼の部で一般の方むけ、夜の部では医療福祉関係の方むけの二部制で行いました。昼・夜あわせて180名以上のご参加をいただきました。

講演はまず、ご参加者の皆さまが考える「健康な生活」を問いかける形ではじまり、[医療者は「国民の健康な生活」を確保しなければならない][患者自身が考える「健康な生活」をいかに医療者と共有するか][医師主導から患者協働の医療へ]といった内容で進みました。

また講演の中では、昨年4月に「いのちの終わりの向き合い方」でご講演いただいた後閑愛実先生も特別ゲストで登場し、会場で両先生のサイン入り書籍の販売も行われました。



昼の部(一般の方)

「今、あなたの受けている医療 納得していますか？」

ご参加の皆さま自身が考える「健康な生活」と、その実現のための薬剤師さんやお薬手帳の活用方法などをお話いただき、「納得できる医療は、自分で動かなければ得られない」との言葉には、多くの皆さまが頷かれていました。

参加後のご意見(アンケートより抜粋)

- 薬剤師さんとの関係の結び方を、理解しやすい内容で学べた。
- 医師に聞く事が出来なかったことなど、薬剤師さんに気兼ねなく聞けることを知り、今度話してみようと思う。
- お薬手帳の大切さを知ることができた。

夜の部(医療福祉関係の方)

「患者中心の医療からの脱却!？」

昼の部での内容を踏まえたうえで、患者の「健康な生活」観を共有する重要性やそれを表出させるための教育の方法、また「患者中心の医療」から「患者協働の医療」を推進するための取り組み事例などについて、熱弁をふるっていただきました。

参加後のご意見(アンケートより抜粋)

- 患者さまがどのような生活をしたいのか、病気をすることも大切だがその人を知る関わり方、働きかけが必要だと考えさせられた。
- 利用者さまのお薬手帳はあまり見ていなかったような気がする。明日からの訪問時に試してみようと思う。

ロビー特別展示のようす

原氏の絵画展示、「アドバンス・ケア・プランニング」のパネル掲示とも、多くの方が講演前後に足を止め、またパンフレットも手に取られていました。



人生物語 みずからの人生はみずからが選ぶ

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。(厚生労働省「ACP 普及・啓発リーフレット」より)

昨今、厚生労働省から『アドバンス・ケア・プランニング(以下ACP)』の愛称を『人生会議』と決定しました』との発表があったことは皆さまご存知でしょうか。また毎年11月30日(いい看取り・看取られ)を「人生会議の日」として、全国的な普及・啓発に向けた取り組みが広が

っています。当法人でも、すでにACPについての普及・啓発・推進に向けた活動を始めており、今回のロビー・パネル掲示を端緒として地域の皆さまにACPについて知っていただく機会を今後継続して設けたいと考えております。

ここでは、絵画の作者である原葉子氏の夫・徳太郎氏に、葉子氏ご本人や夫婦・家族としての生き方、そして看取りから今後のことなどを伺いました。これを読まれているあなたも、ご自身とあなたの大切な人とのこれからを、一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

——作品展示にご協力いただきありがとうございます。
このたびは妻の作品を世に出す機会を与えていただき感謝しています。妻とは、絵画制作のために一緒にあちこちでかけました。秩父のミュージックパークや花園の道の駅、両神のダリア園…。一緒に出かけないときも、出先できれいな景色に出会うと、写真を撮って帰りましたね。花を描きたいときは、切り花を買ってきて写真をいろんな方向から撮っておくんですよ。花が枯れてしまってもその写真を見ながら絵を完成させてね。今は写真を撮っても花を買っても、それを描いてくれる妻がいない。やっぱり寂しいです。
——どんな最期でしたか。
妻は、去年の3月に自宅のソファで

息を引き取りました。だいぶ前から胸の痛みがあったようでしたが、病院には私が勧めてもかたくなに受診しようとしなかったですね。最後に交わした会話は、私が「そんなに苦しいなら病院へ行こう」、妻からは「救急車に乗るくらいなら死んだほうがマシ」といったものでした。毛布を取りにその場を離れ、戻って来てみると既に帰らぬ人となっていました。
——奥さまの考え方など。
妻は健康に関する新聞記事や広告、書籍等に強い関心があり、自分でも購読したりスクラップ等でまとめていたりしていました。白洲次郎の遺言(葬式無用 戒名不用)にも影響を受けていたようです。また、「人間には自然治癒力があるのだから」と、自身もそうですが子供たちも、原因不明の症

医者が多いように感じます。妻が医者嫌いになるのも分からなくもないな、とは思いますが。
——後悔はありませんか？
行きたい所に行き、食べたいものも食べ、「救急車に乗るくらいなら」と言っていたのがその通りだったのだから、本人に悔いはないんじゃないですか。私も「妻は満足して逝ったんじゃないか」という思いもありますが、やはり「こんな早く逝ってしまうなら、あんなつっけんどんにするんじゃないかった」という気持ちが正直なところ。相手のことを認めてやろうとしなかった、理解してやればよかった、そうすれば今の後悔も10分の1くらいになったのではないかと、そう感じます。
二人の子供、特に息子の方はそれまで母にろくに連絡もしなかったことで、だいぶ後悔しているようです。
——今後のことについては。

今まで、自分の最期のことまでなかなか思いめぐらすことはしませんでした。これからは次の世代の子供たちと一緒に考えていこうと思っています。今は妻の考え方に共感するところもありますし、妻に教えられたような気がします。
さしあたって私が死んだあとは、妻の骨と一緒に海へ散骨してもらおうように伝えてあるんですよ(笑)。
——ありがとうございました。



一般病棟 33 床が「地域包括ケア病棟」となりました

「病床」から「病棟」へ

あねとす病院 3 階一般病棟 33 床は、2019 年 3 月 1 日付けで「地域包括ケア病棟」に転換いたしました。

すでに Mirai 第 5 号でお伝えしているとおり、2017 年 10 月 1 日には、一般 33 床のうち 16 床が「地域包括ケア病床」へと転換していましたが、今回は残りの 17 床も含め病棟全体の転換となります。

あねとす病院には、既存の「医療療養病棟」154 床があり、ある程度病状が安定している慢性期の患者さまの長期療養を目的として、医療処置やリハビリなどを提供しています。

今回の病棟転換により、[在宅復帰を目指す方は地域包括ケア病棟][慢性期医療が必要な方は医療療養病棟]という方向性が、より明確になった形となります。



在宅復帰機能の充実

高齢になっても住み慣れた地域で自立した生活を最期まで送ることができるように、必要な医療・介護・福祉サービスなどを一体的に提供し、すべての世代で支え・支えられるまぢづくりのしくみを「地域包括ケア

システム」といいます。そのシステムを支える役割を担っているのが「地域包括ケア病棟」です。

具体的には、急性期治療が終わってもすぐ在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまや、在宅・施設療養中から緊急入院した患者さまに対して、在宅復帰に向けて診療・看護・リハビリを目的とした病棟となります。

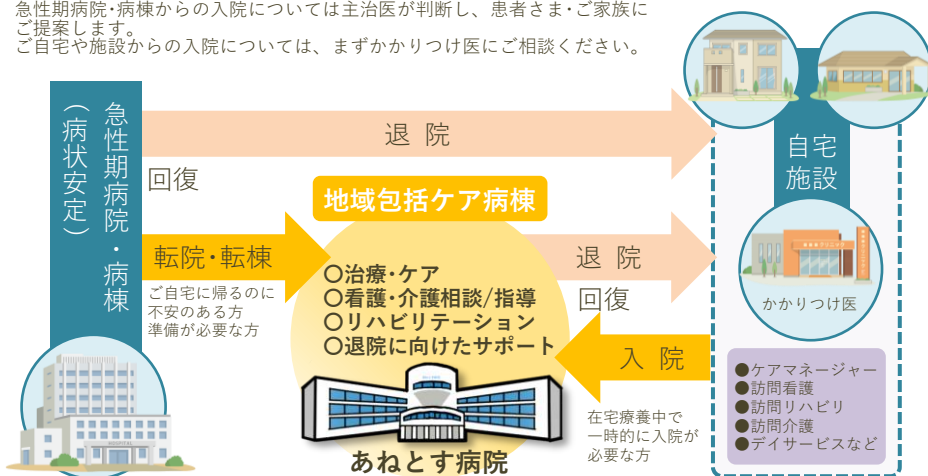
入院期間は 60 日が限度となっており、患者さまの状態及び在宅サービスが整えば退院となります。

在宅復帰をスムーズに行うために「在宅復帰支援計画」に基づき、主治医・看護師・専従のリハビリスタッフ・在宅復帰支援担当者(医療相談員)等が協力して、効率的に患者さまのリハビリや在宅復帰支援(相談・調整)を行っていきます。

病院と在宅との「架け橋」の役割を果たす病棟として、今後も地域の皆さまに貢献してまいります。

地域包括ケア病棟の受け入れ体制

急性期病院・病棟からの入院については主治医が判断し、患者さま・ご家族にご提案します。
ご自宅や施設からの入院については、まずかかりつけ医にご相談ください。



対象となる方の一例

- 急性期の診療(骨折・各手術・肺炎等)後も退院を目指したりリハビリテーションが必要な方や、もう少し経過観察が必要になる方。
- 症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方。
- 在宅復帰に向けて療養準備が必要な方。
- レスパイト^(※)が必要な方(医療行為が必要で、介護施設等でのショートステイが受けられない方)。

など

(※)レスパイトとは … “一時休止”“休息”という意味で、介護者の日々の疲れや冠婚葬祭、旅行などの事情により、一時的に在宅介護が困難となる場合に短期間の入院受け入れを行い、生活負担の軽減を目指す仕組みです。

巫女さんがお祈り

年が明けてみんなで初詣です。アルメリアに大きな鳥居を作って利用者さまをお迎えしました。スタッフが巫女さんの衣装でおみくじを配り、大吉！大吉！大吉！利用者さまも獅子舞の被り物を被って楽しそう。縁起も良く、今年も健康で素晴らしい1年が過ごせそうですね。お年玉は…お気持ちで！



節分の豆まき

今年のアルメリアの節分祭はスタッフが鬼の格好に大変身！みんなで鬼に向かって「鬼は外！」「福は内！」と大きな声で豆をまきました。福の神も登場してみなさんの健康と幸せを祈りました。今年も暖かい陽気に恵まれ春を迎えることができました。



沢山のボランティア

ご訪問いただいたボランティアの方々です。絵手紙や尺八演奏、歌と踊り。昔を思い出し、みなさん手拍子や笑顔が飛び交います。アルメリアでは、ここで紹介しきれないほど沢山のボランティアの方々に来ていただいています。



絵手紙：田中様



歌と踊り：深谷っ子様



尺八演奏：尺現会様

アツアツおでん

通所リハビリテーションでアツアツおでんを作りました。大根、こんにゃく、たまごにコンブ。出汁の染みたおでんを食べてみんなにっこり。



新年の初めに「サザエさん」!?

老健あねとすでは、行事委員会を中心に、毎年新年会の職員の出し物を企画しております。今年も1月11日に開催し、サザエさんのキャラクターに扮した職員が、テーマソングに合わせた体操を披露しました。皆さまも真似をされ、とても楽しまれている様子でした。居室でお休みの利用者さまにもご挨拶に伺い、なかには感動の涙を流して喜ばれていた方もいらっしゃいました。



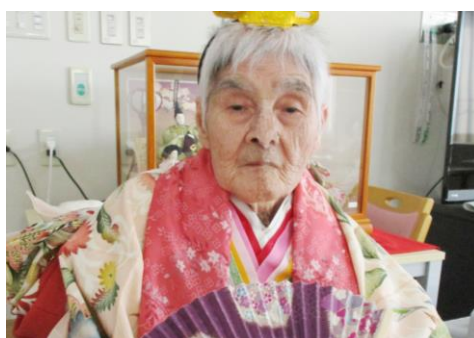
新聞のボールで「鬼は〜外!!」

2月1日、節分レクリエーションを実施しました。本物の豆の代わりに新聞紙を丸めたボールを使っています。鬼に扮した職員が多目的室や居室を回ると、皆さま元気よく「鬼は〜外! 福は〜内!」と声を掛けながら、鬼に向かって豆を投げっていました。



手作りの着物でひな祭り

3月3日のひな祭りで、女性利用者さまに、職員が手作りした着物を着ていただきました。花柄など、色とりどりの生地をつなぎ合わせています。「いつまでも綺麗でいたい」と思うのは、女性本来の気持ちです。着付けをすると皆さま自然と笑顔になっていました。またこの日のおやつには、酒粕から作った甘酒を振舞いました。



賑やかに新年会

新年会では三線の弾き語りを聴き沖縄民謡の踊りを見て楽しいひと時を過ごしました。始まったばかりの平成31年もあとわずかですね。



約3か月かけて皆様で作ったお正月飾り。ひょうたんに色を塗り穴を空け、つまみ細工で飾り付け、卵の殻を使っての大作でした。

元気に豆まき

鬼は外、福は内と皆さま大きな声で豆まきをされておりました。今年一年健康に過ごせますようにと願いを込めて…。



愉快的ひな祭り

ボランティア「しあわせトンボ」の方々をお招きし、歌や踊りを披露していただき愉快で楽しいひな祭り会でした。



ゆかりの家

季節の行事



1月 福笑い

目隠しを取るとびっくりするような顔ができあがっており皆さま大笑いされていました。



2月 豆まき

外に吊るした鬼のお面をめぐけて大きな声で「鬼は～外!」と豆をぶつけていました。



3月 ひな祭り

お内裏様とお雛様になりきって、皆さま嬉しそうにされていました。

手作りおやつ



1月 ベビーカステラ

生地を利用者様に混ぜて頂いた後は、職員がたこ焼き器で焼きました。



2月 行田名物『フライ』

「私に任せなさい」と、調理をかけて出てくれた利用者さまもいらっしゃいました。



3月 桜餅

利用者さまから「良い香りがするね」との言葉がありました。

「訪問看護」でリハビリも利用できるようになりました

■ご自宅で「リハビリ」を

あねとす訪問看護ステーションには看護師 7 名が在籍しており、「訪問看護」として状態観察や医療的ケアをはじめ、療養相談、生活指導、お看取りまで、個別に対応をさせていただきます。そして昨年 11 月より、「訪問看護」のなかでのリハビリテーションもご利用できるようになりました。

訪問看護で行うリハビリは、理学療法士や作業療法士などのリハビリ専門職が利用者さまのご自宅等に訪問し、リハビリテーションを提供するサービスです。[心身機能の維持・回復]や[日常生活の自立]、つまりご自宅等で生活を送るうえでご自分でできることを増やしたり、生活の活動範囲を広げたりすることが目的です。具体的には[ご自宅内や屋外での歩行練習]や[寝返り・起き上がり等の練習][関節が固まったりこわばったりしないような予防]などを行います。



■利用には「医師の指示」

訪問看護でのリハビリのサービス利用対象は、医師が必要があると認めた方です。また訪問看護は[介護保険]だけでなく、[医療保険]での利用もできます。介護保険、医療保険どちらの場合でも利用を希望する場合は、主治医に相談し「訪問看護指示書」を発行してもらう必要があります。まずは

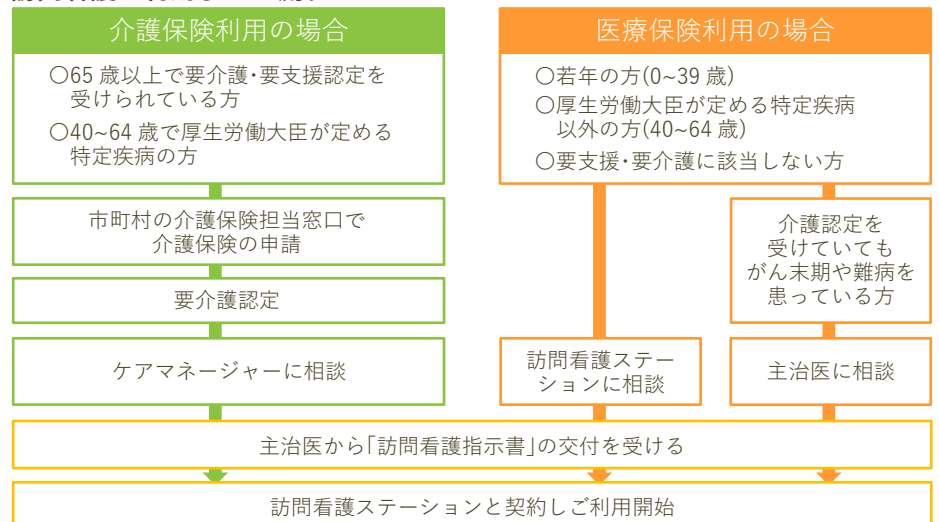
かかりつけ医やケアマネジャーに相談してみてください。

あねとすの訪問看護でのリハビリは、ご本人やご家族、ご自宅の状況などを考慮しながら、個別のリハビリメニューを考えます。

また、無理なく続けられるような訓練法や介助の仕方、環境整備なども、専門家の立場から懇切丁寧にご指導いたします。



訪問看護ご利用までの流れ



詳しくは → あねとす訪問看護ステーション Tel: 048-577-4311

好文会 インフォメーション

第10回 「好文会祭」 ゲスト決定!!

「第10回 好文会祭」の開催日時と出演ゲストが決定いたしました!!

今回は、スポーツ選手や歌手、タレントなど幅広いレパートリーを持つものまねタレントの「神奈月」さんと、「なんでだろう～」でお馴染み、お笑いコンビの「テツ and トモ」さんのWゲストとなります!

記念すべき10回目の開催となる今年は『繋ぐ』をテーマに、より地域に根差した好文会祭となるよう考えております。

皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください!お待ちしております!



スペシャルゲスト

ものまねタレント
神奈月さん

お笑いコンビ
テツ and トモさん

ほか多数!!

第10回「好文会祭」

日時：平成31年5月18日(土) 11:00~15:45

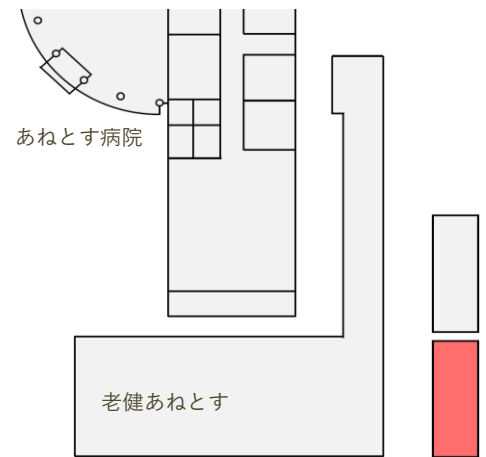
場所：あねとす病院 イベント広場

テーマ：『時を繋ぎ、人を繋ぎ、地域を繋ぐ』
～安心な老後生活の実現のために～

地域ケアセンターが移転しました

「あねとす地域ケアセンター深谷」は3月16日、西島町松原ビルからあねとす病院敷地内に移転しました。これまでよりも更に法人内事業所間での連携が取りやすくなり、皆さまにより良いサービスをご提供することが可能となりました。

今後とも変わらぬご愛顧をお願いいたします。



あねとす地域ケアセンター 深谷
深谷市人見 1975 番地
Tel : 048-501-5500 ※ご連絡先は
変更ありません

「女性活躍等推進事業所」に 好文会が認証されました！

好文会グループは昨年12月、深谷市の『深谷市女性活躍等推進事業所』認証制度により、女性の活躍や男女共同参画の推進に積極的に取り組む事業所として認証されました。今年2月の「広報ふかや」にも掲載されたので、ご覧になった方も多いのではないでしょうか。3月25日には深谷市役所にて認証式が行われ、当法人の門倉理事長が、同じく認証式に出席された「社会福祉法人邑元会 あかつき」様とともに小島市長より認証書を授与いたしました。

好文会では育児休業や介護休業制度、短時間勤務制度の導入など仕事と家庭の両立を支援し、働きやすい職場環境づくりに努めています。ご応募やご見学に関するご連絡も随時受け付けておりますので、当法人採用担当までお気軽にお問い合わせください。



好文会 総務課 採用係 Tel: 048-573-0381



地域包括支援センターの サイトがオープン！

昨年末「大里広域地域包括支援センターあねとす病院」のウェブサイトがオープンしました。

「地域包括支援センター」の役割や業務のご案内が掲載されているほか、お知らせ等も随時発信していく予定です。また、お問い合わせフォームも設置しておりますので、ご相談やご質問もお時間を問わずお気軽にお送りいただけます。地域の皆さまの窓口として、より身近にお役立ていただけますので、ぜひ一度、訪れてみてください。

URL: <https://acsc.koubunkai.jp/>

好文会通信「Mirai」第11号 お客様アンケート

このたびは本冊子をご覧いただきありがとうございます。よりよい紙面づくりと法人のサービス向上に資するため、よろしければ下記のアンケートにご協力ください。

Q1. 好文会やあねとす病院から届く広報誌やイベントの案内等は、皆さまが生活されるうえで役に立っていますか？

はい ・ いいえ

Q2. 「はい」とお答えになった方にお伺いします。役に立ったと感じるのはどんな時ですか？

Q3. 今号の広報誌の中で、面白かった・ためになったと感じる内容はありますか？

Q4. その他、ご意見・ご要望等ご自由にお書きください。

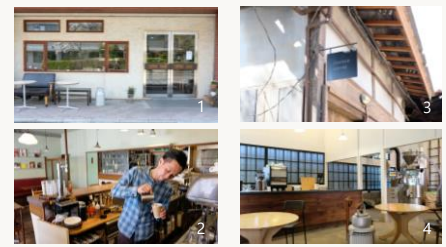
ご回答ありがとうございました。

まちかど
探訪
vol.10



今回は、深谷市上柴の「LOTUS Café(ロータスカフェ)」様をご紹介します。店長の五十嵐 智氏は、はじめて飲んだエスプレッソの美味しさに感動し、2001年からイタリアにバリスタ修行へ。多くの方にエスプレッソを飲んでいただきたいという思いから、2006年に深谷市上柴に店をオープン。イタリア・日本の公認バリスタとして、お客様のご希望に合うような豆と飲み方を提案しています。

その後前橋にも店舗を構え、2016年には「IGARASHI COFFEE(イガラシコーヒー)」を七ッ梅酒造跡にオープン。県内で唯一、近隣でも数えるほどしか導入されていない米国製の「熱風焙煎機」で焙煎されたコーヒー豆は、豆自体の品質の高さも相まって極上的一杯となります。広い店内は結婚式等のイベント会場としても活用でき、4月20日には「50COFFEE & ROASTERY」としてリニューアルも予定されています。皆さまも、ぜひ訪れてみてください。きっとお気に入りの一杯に出会えることでしょう。



1.「LOTUS Café」入口。
2.落ち着いた店内で、五十嵐氏の淹れる一杯を。
3.「IGARASHI COFFEE」看板。
4.広い店内空間。奥の巨大な機械が「熱風焙煎機」。

LOTUS Café
深谷市上柴町西 4-10-1 カムプレイスII 102
TEL:048-577-5585
営業時間
月 11:00~14:30 火~土 11:00~21:00
日 11:00~18:00

50 COFFEE & ROASTERY
[平成 31 年 4 月 20 日 リニューアル予定]
深谷市深谷町 9-12(七ッ梅酒造跡)
TEL:048-577-4253
営業時間
土・日 11:00~14:00
※4月20日以降営業時間変更あり

あねとす病院 診療担当表 [2019年4月] ※通院に便利なお車で無料送迎も行っております。お気軽にお問合せください。

外来診療担当医 診療時間・・・9:00~12:00 / 13:30~16:00 (受付 8:30~11:30/13:15~16:00)							
診療科目		月	火	水	木	金	土
午前	内科外来①	門倉 由幸 [一般内科]	高橋 一夫 [一般・神経内科]	門倉 由幸 [一般内科]	門倉 憲夫 [一般内科]	大塚 真 [一般・神経内科]	門倉 憲夫 [一般内科]
	内科外来②						上野 泉 [糖尿病・漢方]
	整形外科	新井 玄		新井 玄		松丸 聡	
午後	内科		門倉 由幸 ※第2・4予約制			大塚 真 [認知症外来]	上野 泉 [糖尿病・漢方]
	整形外科	新井 玄		新井 玄		松丸 聡	
	皮膚科外来						群馬大学 皮膚科医
訪問診療担当医 金井 稔 萱場 誠人 門倉 由幸 反町 千里 金子 由夏 林 順子 中村 淳							

料金受取人払郵便
深谷郵便局 承認
177
差出有効期間
2019年
6月30日まで
(切手不要)

✂ キリトリ線
郵便はがき
3 6 6 - 8 7 9 0
(受取人)
埼玉県深谷市人見1975番地
特定医療法人 好文会
地域医療介護連携室 行
|||||

お客様情報記載欄 ※記載は必須ではありません

フリガナ お名前	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
○一般の方		
年齢	<input type="checkbox"/> 10代以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上	
フリガナ ご住所	〒	
お電話 () -		
○医療福祉関係の方		
フリガナ ご事業所		
職種		
ご連絡先 () -		

※当法人は「個人情報の保護に関する法律」その他の関連法令を遵守し、適切に取り扱います。
お客様からお預かりした個人情報上記の利用目的以外には使用しません。

特定医療法人 好文会 グループ

機能強化型 在宅療養支援病院 あねとす病院
〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地
TEL:048-571-5311 FAX:048-572-8800

介護療養型老人保健施設 アルメリア
〒366-0811 埼玉県深谷市人見2031番地
TEL:048-574-8777 FAX:048-574-8822

介護老人保健施設 あねとす
〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地
TEL:048-570-0511 FAX:048-570-0512

あねとすホーム上柴 [あねとす生きいきデイサービス上柴]
〒366-0051 埼玉県深谷市上柴町東1丁目16番8
TEL:048-598-3311 FAX:048-598-3372

短期入所生活介護 ゆかりの家
〒366-0811 埼玉県深谷市人見2051番地1
TEL:048-574-3900 FAX:048-574-6200

あねとすデイサービストレーニングセンター
〒366-0801 埼玉県深谷市上野台3180番地1
TEL:048-577-3483 FAX:048-577-3725

あねとす訪問看護ステーション
〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地
TEL:048-577-4311 FAX:048-577-4334

あねとす訪問介護
〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地
TEL:048-574-1540 FAX:048-572-0187

あねとす訪問入浴
〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地
TEL:048-573-0096 FAX:048-572-0187

あねとす地域ケアセンター深谷
〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地
TEL:048-501-5500 FAX:048-501-5533

大里広域地域包括支援センター あねとす病院
〒366-0811 埼玉県深谷市人見1975番地
TEL:048-577-3201 FAX:048-577-3261